

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますよう お願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。

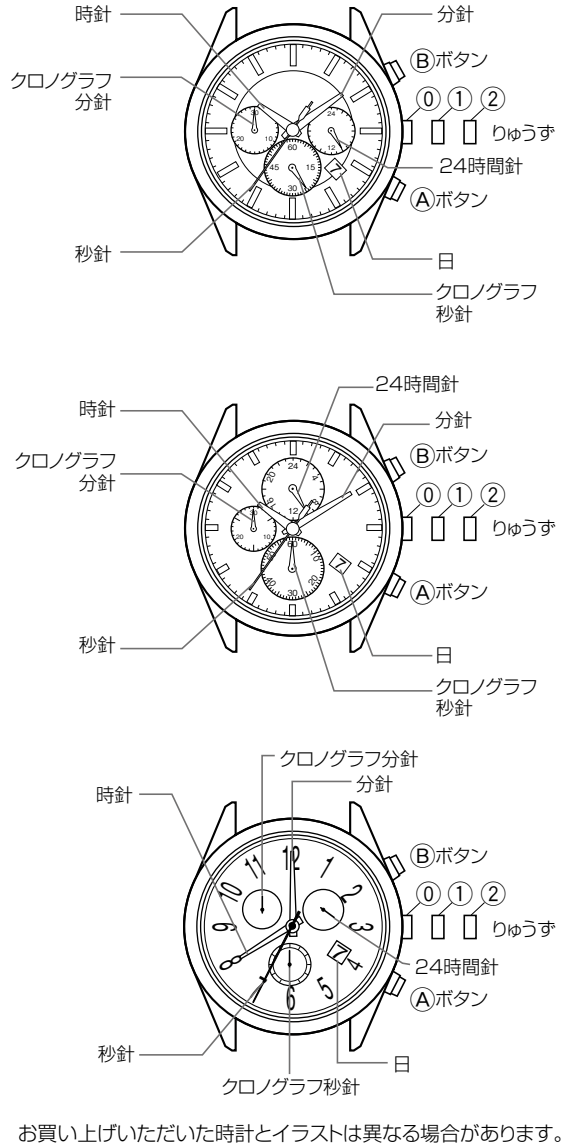
■安全上のご注意

必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）		
		このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
		このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

■各部の名称



■ご使用になる前に

《保護シールについて》

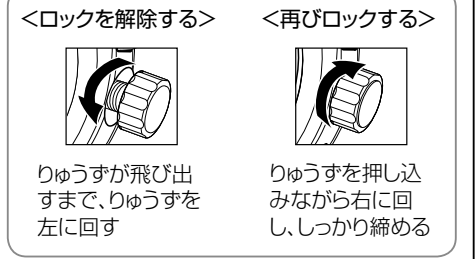
時計のガラスや金属部分（裏ふた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

《バンド調整について》

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）
バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では 有料もしくは取り扱っていない場合があります。

■ねじロックりゅうずの使いかた

* モデルによっては、誤操作を防ぐため、りゅうずがねじロック式になっています。
ねじロック式のりゅうずは、りゅうずのロックを解除してから、操作してください。
また、操作が終わったら、りゅうずをロックしてください。



■時刻・カレンダーの合わせかた

<時刻の合わせ方>

1. 秒針が0秒を指しているときにりゅうずの位置を②にする
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる

- 合わせたい時刻よりも4～5分先に進め、分針を戻しながら合わせるとより正確に合わせることができます。
- 24時間針は時針に連動して動きます。

3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にして終了する

<カレンダーの合わせ方>

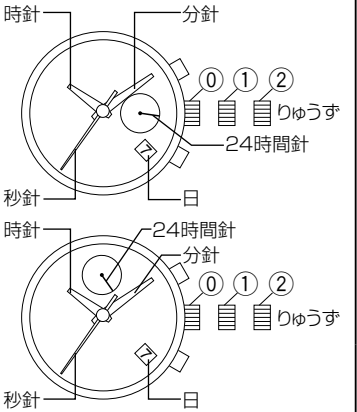
1. りゅうずの位置を①にする

2. りゅうずを右に回して日を合わせる

- 午後9時から午前0時の間は、日表示が切り替わる時間帯です。この時間帯での日の修正はさけてください。

3. りゅうずの位置を①にして終了する

- 3月、5月、7月、10月、12月の月初めには、日を修正してください。



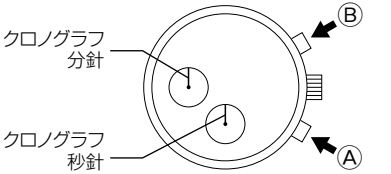
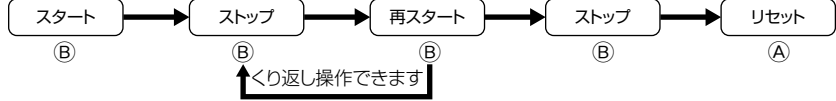
■クロノグラフの使い方

- このクロノグラフは、1秒単位の計測で、最大30分までを計測表示します。30分を超えると自動停止します。

<普通の使い方>



<積算計としての使い方>



■クロノグラフ針の“0”位置合わせ

クロノグラフをリセットしても、クロノグラフ秒針/クロノグラフ分針が0を指さない場合、0に戻します（「0」位置合わせ）。

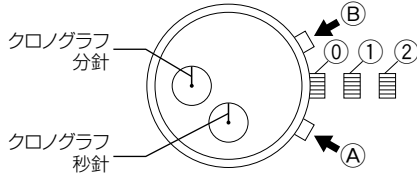
1. りゅうずの位置を②にする

2. ②ボタンをくり返し押して、クロノグラフ秒針/クロノグラフ分針を「0」位置に合わせる

- ②ボタンを押し続けると、針は早く動きます。

注) ①ボタンを押すと、針は反時計回りに動きます。針を反時計回りに「0」位置に合わせると、正しく合わせられない場合があります。このようなときは、②ボタンを押して、時計回りで「0」位置に合わせます。

3. りゅうずの位置を①にして終了する



■お取り扱いにあたって

⚠ 警告 防水性能について

- ・ 時計の文字板及び裏ふたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。（1 bar は約1気圧に相当します）
- ・ WATER RESIST (ANT) ××barはW.R.××barと表示している場合があります。
- ・ 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・ 日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・ 日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキndaイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- ・ 日常生活用強化防水時計（10/20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名称	表示	仕様
	文字板または裏ふた	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水
	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水

⚠ 注意 人への危害を防ぐために

- ・ 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・ 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・ サウナなど時計が高湿になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・ バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意 使用上の注意

- ・ りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- ・ 水分のついたままりゅうずの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・ 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- ・ 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- ・ 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- ・ 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- ・ 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
- ・ 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- ・ バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ・ ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替ください。
- ・ 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき

■保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無償修理致します。

<修理用部品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常4年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンド等の外装部品におきましては、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<修理可能期間について>

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

<ご転居、ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居または、ご贈答品のためにご購入いただけた店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

<定期点検（有償）について>

- ・ 防水性能について
防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご

- ・ お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- ・ 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。

<磁気について>

・ アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだれて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- ・ 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能・性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- ・ クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

・ 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレソール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- ・ 時計のガラス部分や金属部分（裏ふた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

- ・ りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回らせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ・ ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す

使用例					
水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や一般水泳に使用。	スキューバダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でりゅうずやボタンの操作。	
×	×	×	×	×	
○	×	×	×	×	
○	○	×	×	×	
○	○	○	×	×	

- 場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ・ ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- ・ 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- ・ 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ・ ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- ・ 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください
- ・ 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

⚠ 注意 電池交換について

- ・ 切れた電池を充電しようとししないでください。
- ・ 使用済みの電池を火中に投げしないでください。
- ・ 電池は子供の手の届かないところに保管してください。
- ・ 誤って電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- ・ 分解・改造・加熱しないでください。事故につながる恐れがあります。
- ・ 電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換をしてください。
- ・ 電池交換の際は、必ず指定電池をご使用ください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。
・ 蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
・ 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって発光する時間に差異が生じます。
・ 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

■メモ